

【国土交通省作成メモ】

第30回 P I 外環沿線協議会（概要メモ）

1．日 時：平成15年12月18日（木） 午後7時00分～9時15分

2．会 場：都庁第一庁舎5階 大会議場

3．出席者：23名

関係者（敬称略）

武田 佳登（練馬）、宿澤 藤子（杉並）、土肥 紀久（杉並）、濱本 勇三（武蔵野）

村田 あが（武蔵野）、富澤 和也（三鷹）、樋上 寛（三鷹）、遠藤 好照（調布）

渡辺 俊明（調布）、橋本 妙子（狛江）、江崎 美枝子（世田谷）、栗林 勝彦（世田谷）

地方自治体

平野 和範（練馬区部長）、菱山 栄二（杉並区部長）、塩沢 忠彦（武蔵野市部長）

柴田 直樹（三鷹市部長）、新谷 景一（調布市部長）、大川 宗男（狛江市部長）

栗下 孝（世田谷区部長）

国土交通省・東京都

川瀧 弘之（関東地方整備局道路企画官）、伊勢田 敏（関東地方整備局東京外かく環状道路調査事務所長）

道家 孝行（東京都外かく環状道路担当部長）、宮良 眞（東京都外かく環状道路担当課長）

4．傍聴者：約50名

5．概 要：

- ・改めて、首都圏全体における外環の必要性の議論が必要である。
- ・12/10都議会における都市計画局長の発言は、有識者委員会の最終提言を相反しており、国と都の方針が一致していない。
- ・移転棟数の多寡だけで判断するものではないというが、移転する人への配慮が必要。
- ・ICの設置に関しては、杉並区は明確に反対。まず地元の意向を十分把握すべき。
- ・ICが必要だという都の局長答弁はいささか勇み足である。
- ・まだまだ協議会で必要性の議論がされている中では、協議会を無視した答弁で、PIルールに反している。
- ・ICが必要な立場から考えると、都は自治体としての考えを出したものである。
- ・議員の質問は、全てのICと言っているわけではない。今後、議論を深めていけばよい。
- ・交通政策的には、青梅ICについて、幅広く検討すべきである。
- ・ゼロIC大臣発言に対し、ICがなければ都は、外環に反対と理解できる。
- ・IC問題は賛否両論。幅広く議論できる情報を早く出して欲しい。
- ・都は、ICが無いと別途料金が必要になるといっているが、何故断言できるのか。
- ・有識者委員会の最終提言では、「なお」書きで要望があったICについて検討することとなっており、これに沿ったもの。
- ・ICについて、都はH15.2.13の定例会でも局長が幹線道路との接続は地域の利便性、広

域交通処理等の観点からICは、必要と答弁した。

- ・国からは大臣発言は3月方針に沿ったもので、これからも議論していくと説明を受けており、国と都の考えは一致している。
- ・料金体系については、議論するために、現行の料金体系を前提としているだけ。
- ・車の便利さだけを考えてICが必要だとか言っている。住民のことは考えていない。
- ・移転する人の痛みを伴うことは十分に承知している。そういう人への配慮、きちんとした補償を行い、理解と協力を得て進めることは、外環だけに限らず公共事業を進める立場のものの共通認識である。
- ・利便性だけではなく、環八の環境改善等も十分発揮できるという主旨である。
- ・自治体としての一つの見解であり理解できるが、地元の意向を十分把握したのか。
- ・改善効果やICの必要性について、根拠が問題になる。考えるための素材が必要。

【環境調査について】

- ・「環境影響評価項目の選定について」を説明。
「環境の現地観測」について説明。
観測場所として、学校や公園などで観測場所をお借りすることが決まった。
1月から現場で観測を行いたい。ご協力をお願いしたい。
- ・観測にあたっては、前もって協議員に連絡はあるのか。
区市の公報に掲載。協議員へは事前に連絡する。
- ・11/28の区市長会で、三鷹市長は「新たに必要のある場合は、市と協議して追加等を検討し、換気塔の位置等、計画が具体化した場合は、追加調査をお願いしたい。
- ・白子川の湧水源の状況等はよく調査をしておいて欲しい。
白子川の湧水源は、現地を見て必要な場合は調査したい。
- ・追加された調査の項目に関するアセス審での議論の内容を示して欲しい。
まとめて提示する。
- ・大深度地下トンネルであるならば、アセスの評価項目の中でも特に水に関するものは重要である。
地下の道路であるため、地下水については懸念しており、文献だけでは十分ではなく、今回現地で調査するものです。調査した結果等は、お知らせしていきたい。また、地元の情報もあればお教えいただきたい。

【その他】

- ・国と都は東名以南をどう考えているのかを示すべきである。
- ・環八渋滞緩和対策は、環八の交通容量を拡大するか、バイパスの整備が必要であり、外環の必要性を極小化してしまう。
- ・交通量推計の計算プロセスを判りやすく示して欲しい。
- ・ナンバープレート調査方法が知りたい。